

婚活パーティーに一〇〇回通った私が婚活の猛者から聞いた、「相手がいくら稼いでいるかよりもお金の使い方を見るべし!」という言葉が心に響いています。プロフィールカードに書いてある年収の欄に目が眩みそうになるところをスルーして、普段どのような生活をしているかを聞き出すと猛者は語っていました。当時出会ったばかりの夫の価値観を早く知りたくなり、コンビニでどんなアイスを買うのか血眼で見たことがあります。コンビニのアイスはお金の使い方が詰まっていると勝手に思い込み始めたことがきっかけです。一二〇円のミルクのアイスがあるのに二八〇円のミルクのアイスを買ったら、素材重視の人なのかな。なんでもない日にハーゲンダッツを買ったらエンゲル係数が高い人なのかなと考えてしまいます。私の価値観や偏見がもろに出るコンビニのアイスで夫が買ったものはミルクのアイス一二〇円でした。私と同じ価値観のような気がして、アイスひとつでホッとしたことを覚えています。私にとってアイスはプリンは高級品。実家の冷蔵庫には減多に入っていませんでした。祖父母の家にある炭酸のジュースが輝いて見えていた幼少期を過ごしました。この価値観はやはり母親譲りな気がします。



絵・江口修平

私の価値観

横澤夏子

欲しいものはすぐに買わない。誕生日やクリスマスまで待つ。それが横澤家の決まりでした。母親の口癖は「お誕生日プレゼントにするかサンタさんに頼みなさい」の一点張りです。ちなみに、サンタさんから欲しいものが届いたことはありません。だから年に一度の大チャンスお誕生日プレゼントに期待するしかないのです。基本的に欲しいものがあつたら一年間考えていたもので、今でもその癖がついています。本当に欲しいものなのかどうかを考えられる大人になりました。

私も母親に倣って、子どもには同じように「サンタさんかお誕生日だね」が口癖になっています。二歳の長女が、「ガチャガチャをやりたい」と言い、いつものように口癖を言い始めようと思つて見ると、夫の手を握つて夫の目を見つめてお願いしていました。二歳にして自分に甘くしてくれる方はいくらも分かっていて驚きました。そうです。夫は娘に甘くてなんでも買ってしまう男でした。婚活パーティーで子どもには甘いところまでは見破れませんでした。娘の価値観がどうなるかは私たち親次第なので、大切なものはなにかを見つけられるようなお金の使い方を教えていけたらいいなと思っています。

よこさわ・なつこ●お笑い芸人。1990年7月20日生まれ、新潟県出身。A型。東京NSC15期生。身近にいるさまざまな女性を観察して作った細か過ぎるモノマネ芸「ちょっとイラッとくる女」シリーズや「トゥーマッチな音楽の先生」で注目を集める。『R-1 グランプリ』では、2016年から2年連続で決勝に進出。一般男性と結婚し、現在は2人の子供を育てながら、バラエティ番組やCM、情報番組などに幅広く出演中。

